

## 「AICHI AYA week 2023」企画 趣意書

梶山女学園大学看護学部「starting with AA」

共同代表 梶山女学園大学看護学部 学部長 杉浦美佐子  
梶山女学園大学看護学部 助手 瀧田咲枝

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。現在、日本人の2人に1人が「がん」を発症すると言われていています。がんはどの年代にも発症し日本人にとって身近な病気です。特に、15歳～30歳前後の思春期・若年成人のがん患者は、小児がんと成人がんが混在して発症し発症する臓器も多岐にわたります。この世代の治療は、他の世代の患者数に比べて少なく、治療する専門家も限られており、最適かつ効果の高い治療法が十分に確立していない治療を受けるための診療科も定まっていない状況にあり、社会の中で患者への支援が行き届いていないと言われていています。

思春期（15歳～）から30歳代までの世代は、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとりAYA（アヤ）世代（以後AYA世代と略す）と呼ばれています。AYA世代の特徴は、多くの人にとって親から自立し就学、就職と生活の中心は家庭や学校から社会へと活動が移行する時期であり、人生にとって大きな転換期を迎える時期にあります。さらに恋愛、結婚、出産など人生で重要なイベントが集中する時期でもあります。このような時期にがんが診断されることは心身にさまざまな影響を受けます。AYA世代に対して社会の中で細やかな支援が必要と考えます。

2021年度より、全国各地で一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会(AYA 研究会)を母体として AYA 世代の社会啓発活動「AYA week」を開催しております。今年度も2023年3月4日～3月12日に開催を予定しております。そこで、AYA week 2023を機に愛知県独自の地域の特徴を活かした AYA 世代がんの啓発活動と支援を作っていきたいと考えております。多くの方に「AYA 世代」という言葉を知っていただき、AYA 世代の患者やがんを克服した経験者やご家族の方々が安心して暮らせる社会と地域作りを考える機会となるきっかけになる事を切に願っております。

上記の企画へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

# 「AICHI AYA week 2023」企画案

## 1. テーマ「AICHI AYA week 2023」の取り組み

## 2. 目的

AYA 世代がん啓発「つながる」

当事者と、支援者と、あなたの思いがつながるイベント

⇒当事者も一般の方も皆が楽しみながら AYA がんを知る学ぶ考える機会とする

地域における AYA 世代がんの理解を深めることによって、当事者も一般の方も 2 人に 1 人ががんになる時代の中で「皆が住みよい環境」になるための一助とすることを目的とする。

## 3. 活動内容

### 1) レシピコンテスト

テーマ

「外来治療中の患者様が治療を終え帰宅後に作る一皿で家族も喜ぶ簡単レシピ」

#### <レシピコンテスト企画の背景>

抗がん剤治療中は、吐き気や食欲不振などの副作用が出現しやすく、(図に示す) 十分な食事をとることが難しい。しかし、「食事」は、生命の維持には重要である。

愛知県のがん対策推進条例の中は「がんになっても安心して自分らしく暮らせるあいちの実現」をテーマとし「子どもから高齢者までライフステージに応じたがん対策の推進」や、「みんなで支え合い、がんになってもがん患者や家族が安心して暮らせる社会の実現」を基本方針としている。以上のことから生活の中で「食事」は楽しみの一つである。地域の中で「食事」を通して AYA 世代をはじめ、がん患者の「食事」支援を考えることから社会への啓発活動と助け合う共生社会に繋げる機会を設けることを目的とする。また、農林水産省より、地産地消の推進が推奨されており、本イベントでも愛知県内で生産される食品を使用し、当事者、学生、子育て世代、そうでない方など、「食」から、様々な人を繋げ、AYA 世代がんへの理解へと繋げていきたいと考える。そのため、このレシピコンテストが啓発に繋がる理由として、レシピコンテストに参加する条件として、作成した AYA 世代がんに関する資料 (AYA 世代がんに関する概要や困り事、がん患者の声などを掲載した冊子を作成予定) を読み、理解を深めたうえでレシピを考案してもらうという段階を踏む。さらに、レシピコンテストの背景や実際のレシピを紹介していくことで、参加者のみではなく多くの方にレシピコンテストを通し AYA 世代がんを知っていただくきっかけとなると考える。

### 治療期に適した食支援『簡単麺レシピコンテスト』(案)

テーマ	外来治療中の患者様が治療を終え帰宅後に作る一皿で家族も喜ぶ簡単レシピ
1. 応募資格	愛知県内の管理栄養士養成校*に在学中の大学生（グループでも参加可）
2. コンテストの流れ	2022年10月11日（月）～11月4日（金） レシピ応募期間
	2022年11月7日（月）～11月18日（金） 一次審査（書類審査）期間
	2022年11月26日（土） 二次審査（料理実演・実食）、結果発表
	2023年1月 プレイベントで最終審査結果発表（賞状、賞品の授与）
	2023年3月 メインイベントで最優秀賞レシピ 作り方動画の配信の案内
3. レシピの条件	<p>①低価格・スーパーで手に取りやすい又は家に常備してある調味料とし、患者、家族が購入しやすい準備しやすい食品を食材とする</p> <p>②きしめん、うどん、ひやむぎ、そうめんのどれかを使った麺の料理をメイン料理とする。</p> <p>③調味料（つゆや酢など）は、協賛企業の製品をできる限り利用する</p> <p>④たんぱく質の多い食品・季節の野菜を使った料理 （愛知県の食材を意識した食品を意識する）</p> <p>⑤抗がん剤治療中は、骨髄の造血機能が低下しやすく摂取する食品に対しても感染対策が必要とされるため、加熱処理を加えた食品・レシピとする</p> <p>⑥1人で20分以内で完成する料理（冷蔵庫から食材を出し始めて食べるまでに）</p> <p>⑦一皿でバランスがとれる料理とする</p> <p>⑧食材は、重量ではなく目安量（大さじ、小さじ、カップ、野菜は〇個や〇本など）表記にする</p>
4. 審査員	病院の栄養士、医療関係者（医師、看護師）、通院中の患者***（投票）
5. 賞品及び受賞特典	<p>最優秀賞 1グループ</p> <p>優秀賞 2グループ</p> <p>敢闘賞 2グループ</p> <p>特典：最優秀賞、優秀賞のレシピを病院や薬局においてもらう。また、YouTube で作り方動画を配信する（QRコード作成）。</p>
7. 個人情報の取り扱い・注意点	賞に選出されたチームは、顔写真、名前を記載したレシピをHPに掲載するので、ご了承ください。

## 2) イベント

AYA 世代がんの啓発を目的に行う。

対象：当事者、一般の方広範囲の方に向けて

2023年1月21日午後（椋山女学園大学）

3月4.5日終日（椋山女学園大学主催・東山遊園協賛）

の2回実施

全国規模で行われる AYA week 2023 へ主催イベントとして登録する。

イベント形式：参加型イベント

## 4. スケジュール プレイイベント 1回 メインイベント1回を予定する

### プレイイベント

2) 日程：2023年1月21日14:00～17:00（全国で開催させる AYA week 2023 への参加）

場所：場所：MOBILITY GATE 吹上 予定

愛知県名古屋市千種区千種3丁目5-8

協力施設：モビリティ中京

<イベント内容案>

### ① 一緒に考えよう！参加型のトークイベント

様々な分野の医療従事者など（医師・看護師・作業療法士）と、がんの予防や治療について一緒に考えましょう

### ② 今後に活かそう！知恵コーナー

お金について考える

こどもについて考える

### ③ みんなで思いを届けよう

写真を撮影（撮影した写真はプレゼントします）し思いを皆さんへ届けましょう

### ④ レシピコンテスト審査・結果発表

### メインイベント

3) 日程：2023年3月4.5日（全国で開催させる AYA week 2023 (2022.3.4-12) への参加）

※展示物のみ12日まで

場所：星が丘テラス

愛知県名古屋市千種区星が丘元町16

<イベント内容案>

### ① ミニブーケをプレゼント

ミモザの花言葉「感謝」を皆さんへ…ささやかな思いを届けます

### ② AYA がんを知ろうスタンプラリー

AYA 世代がんについて一緒に知って、考えてみましょう

### ③ 今できること、一緒に考えよう

三越劇場で AYA 世代がんに関連する映画・ドキュメンタリーを上映します

### ④ 新しい趣味を自分の癒し方を見つけよう

東山植物園内をガイドが案内します。

### ⑤ みんなで思いを届けよう

写真を撮影（撮影した写真はプレゼントします）し思いを皆さんへ届けましょう

AYA week 2023 で実施予定のフラッグの記入

⑥ 一緒に考えよう

⑦ 外見ケアについてミニレクチャー

資生堂さんよりお役立ち情報をお伝えします

5. その他

愛知県がんセンターをはじめとするがん診療拠点病院に AYA 世代がん啓発への協力を依頼し、全国で開催させる AYA week 2023 への参加（フラッグへの参加、院内イベント等）や、本活動への参加協力・後援協力を依頼。本活動の目的である、地域に住むすべての人への啓発活動を目標としている。

AICHI AYA week 2023 運営委員会構成（2022.10.1 現在）

椙山女学園大学	看護学部	杉浦美佐子	代表
		瀧田咲枝	代表 統括・渉外・事務局
		武田智美	会計 渉外・事務局
	生活科学部管理栄養学科	本山昇	レシピコンテスト
		及川佐枝子	
		小多沙知	
東山遊園株式会社	開発企画部	柘植直也	メインイベント
		朝日恵子	
	星が丘テラス営業部	柏木明美	
		引網貴子	
協力			
愛知県がんセンター	婦人科部 AYA 支援チーム委員長	鈴木史朗	アドバイザー

予算案

Ⅰ 収入の部		単価	個数	金額
1.	寄付金	¥50,000	8	¥400,000
2.	協賛金	¥50,000	8	¥400,000
3.	募金	¥1,000	200	¥200,000
収入合計				¥1,000,000
Ⅱ 支出の部		単価	個数	金額
1.	事務局経費（通信費、人件費、実行委員運営にかかる）	¥20,000		¥20,000
2.	クリエイティブ開発費（ポスター作成、Webサイト運	¥80,000		¥80,000
3.	運用費（ポスター等資材印刷、発送料）	¥200,000		¥200,000
4.	イベント冊子作成費（プランニング・制作・印刷費）	¥100,000		¥100,000
5.	レシピイベントにかかる費用（施設使用料、食材費、	¥200,000		¥200,000
6.	イベント関連費用（人件費、制作費用、デザイン・会	¥200,000		¥200,000
7.	イベントTシャツ作成費用	¥100,000		¥100,000
8.	予備費	¥100,000		¥100,000
				¥1,000,000
収入合計－支出合計				¥0